

1 . 件名：九州電力(株)玄海原子力発電所の火災感知器等（日本フェンオール）
に関する対応状況の面談

2 . 日時：令和5年7月11日（火）10時30分～11時00分

3 . 場所：原子力規制庁18階会議室（TV会議システム利用）

4 . 出席者

原子力規制庁原子力規制部

・検査グループ 専門検査部門

上田企画調査官、渋谷上席原子力専門検査官、種市主任原子力専門検査官

平川主任原子力専門検査官、平沢原子力専門検査官（うち2名TV会議参加）

・原子力規制企画課火災対策室

齋藤室長、北嶋推進官、星野室長補佐、高橋係長

九州電力（株）原子力発電本部 原子力設備グループ長他

計10名（全員TV会議参加）

5 . 要旨

九州電力(株)から玄海原子力発電所の日本フェンオール製の火災感知器及び中継器等について、対応状況を説明したい旨の連絡があり、資料に基づき説明を受けた。

○原子力規制庁から、説明内容については、特段のコメントはない旨伝えるとともに、今後、交換する感知器に係る製品保証（消防法に基づく型式適合検定）、火災報知盤のトレンド機能について、現場において確認したい旨を伝えた。

○九州電力（株）から了承した旨の回答があった。

6 . その他

資料：日本フェンオールに関する対応状況について